

(仮称) 宮前区「希望のシナリオ」実現プロジェクト

宮前区らしいしくみ「ラウンドテーブル」をお試し実施しよう！

ミーティング3：宮前区らしいソーシャルデザインセンターを考えよう

令和4（2022）年3月13日（日）13：30～16：30

第2部：宮前区らしいソーシャルデザインセンターを考えよう

注釈

* [] 内は動画や画面上での操作に関する補足です。実際に発言している内容ではありません。

* SDC：ソーシャルデザインセンターの略

00:00:00 [音楽] タイトル画面

00:00:06

株式会社石塚計画デザイン事務所 千葉：

- ・第2部はソーシャルデザインセンターを考えようということになっております。
- ・そこで、その前に、案をみなさんにお伝えしていくということになるんですけど、アンケートの結果のソーシャルデザインセンターに関する部分について簡単に振り返りたいと思います。
- ・まず、こんな感じでラウンドテーブルをソーシャルデザインセンターの中で継続していくということに関しては、9割ぐらいの人から「継続」ということで来ているのですが、このうちの56.7%、グラフの赤い部分では、「継続できると良いが、改善が必要」ということで、いくつかのキーワードを頂いております。
- ・例えば、多様な人を巻き込むということ、人が偏らない工夫が必要なんじゃないか。
- ・あるいは、今回のお試しでは自由に選択できなかったのが、自由に選択できると良いとか、あとは場所とメンバーを固定した方が良い。
- ・メンバーには任期があって、期間限定の方が良いという意見もあれば、場所はいらないが、事務局のような機能は必要だね、みたいな話があったり、区役所の主導的なところもある程度は必要だというような話が出ていました。
- ・そしてラウンドテーブル以外のソーシャルデザインセンターが担う役割や形式は？というところでは、例えば、「人や団体が活動を共有し、交流を通じてつながり、新たな活動を生み出す」、「資源と人を結んで課題解決に導く」、「活動を支援する」というようなことは、ラウンドテーブル自体も持っている機能かなと思うんですけど、違う形での機能ということが求められるのかなと思います。
- ・あと、「市民の声を広く集める、悩みの相談に乗る」とか「場所とスタッフの機能」とかそういったこ

とを頂いています。

- ・そして、担うべき役割・果たすべき機能ということで、かつてワークショップとかで検討したような機能の中で、みなさんにチェックして頂いたときに、一番多かったのは、地域の人や活動をつなげるというものでした。
- ・それ以外にも、この辺 [グラフ上部] に固まっているのが多かった意見かなと思うんですけど、例えば「⑤地域に活用される開かれた場の推進」というようなことがあるとか、あとは、多様な使い方ができる場所というのがあったら良いんじゃないか、場所のシェア、活用の工夫みたいなことを求められるというような話もありました。
- ・そして、その他の仕組みの実施にさらに検討が必要ということで、いくつかキーワードを頂いています。
- ・「人の巻き込み方」というキーワードでは、若い世代とか多様な世代、新しい住民を巻き込む、企業を巻き込むといった巻き込み方をもっと検討する必要がある。
- ・あと「運営主体について」というところで、誰が団体同士をつなげて、大きな動きにしていくのかを考えていく必要がある、ノウハウを蓄積するにはどうすれば良いのかという運営の話。
- ・そして、「場について」、参加者のつながりを自然に生む環境をつくるとか、出張所などの場所が活用できると良いみたいな話。
- ・あと「情報の発信」ということで、地域の活動情報の発信もあれば、ソーシャルデザインセンターを知ってもらおう発信というものもあるだろう。
- ・あと「宮前区らしさ」と言っているけど、その「区らしさ」という検討を、例えば他区のことを学びながら知るとかそういうこともあるんじゃないかというような話がありました。

00:03:24

千葉：

- ・ちょっと急ぎ足でしたが、アンケートの結果を簡単に共有しました。
- ・その結果をもとに、宮前区ソーシャルデザインセンター像の案というのをお示ししたいと思います。
- ・まず、この赤い枠に囲まれているものがソーシャルデザインセンターだということで、上から活動を支援する機能というのは、今まで示してきた6つの機能があるという風に描いています。
- ・真ん中は取組です。
- ・そして下が運営体制ということで、これは左上に「長期」と書いているんですけど、すぐにこうなるという意味ではなくて、将来的にこんな風になるのではないかという将来像だと思っていただければと思います。
- ・それで、取組というところの真ん中を見ていただきたいんですけど、今お試し実施したラウンドテーブルというのが真ん中にあります。
- ・これはこれを実施するために、例えば課題の収集や整理をする、地域の声や悩みを聞いたりするとか、課題を整理していくっていう取組も必要だし、あと相談窓口ということで、気軽に訪れられるような窓

- 口っていうのも、例えば、空き家・空き店舗を活用したようなものとか、そういう拠点があるような窓口もあるかもしれないし、あるいはソーシャルネットワーク（SNS）やホームページを活用した窓口というのものもあるかもしれない。
- ・このようないろんな取組がこの SDC でやられているというイメージになるかなと思います。
 - ・そして、将来的な運営体制ということで示しているのですが、1 つではなく、多様な団体が連携していくみたいなことを描いています。
 - ・それぞれの特徴を活かした中間支援機能というのを担いながら緩やかに繋がっていくというような形にすることで、いろんな人が、例えばこの団体と繋がろうとかね、1 つの団体ではないことによっていろんな人が繋がっていく、新陳代謝をしていくっていうことに期待しています。
 - ・そして、団体が地域での信頼を高めていけば、右側に現れましたけど、例えば、寄付金やスポンサーになってもらうというような、そういう寄付によって支えるような資金のエンジンも出てくると思いますし、あと例えば、団体が地域での信頼とか実績を高めていって、自主財源による運営のいろんな事業が出てくるケースもあるかもしれない。
 - ・例えば、ある団体は、窓口とか拠点を持っていることで、この窓口機能が取り組めるよっていう団体もあるかもしれないし、ある団体はこの情報の整理・収集が得意ということで、それが仕事に繋がっていく、あるいは区の委託を受けるというようなことがあるかもしれない。
 - ・そういったお金のイメージも描いています。
 - ・あるいはイベントをやって、イベントの参加費が入ってくるとか、公共の空間の管理をやるということで、その管理によって得られるお金があるケースもあるかもしれないですね。
 - ・例えば、まちづくり会社みたいなものでは、その場所を運営することによる広告費の収入が入ってくるようなことがある場合もあります。
 - ・まあそういったことを事業としてお金を付けていくというイメージがここに描かれています。
 - ・そして、イベントがある程度得意になってくると、中立性っていう、さっきのテーブル 3 の話がありましたけど、を持ちながらイベントをコーディネートして、コジマさんのような企業から直接お声がけがある。
 - ・そういうコーディネートができる団体もあるかもしれない。
 - ・そして、一番下に点線になっているのが、区役所という役割なんですけど、区役所もその取組を下支えして、民間の弱い部分、公共性の強い部分を後押ししていく役割として、下から矢印を持ち上げている部分もあります。
 - ・一方で、運営団体の 1 つとしての区役所という側面もあるのかなと。
 - ・公共性の高いテーマとかは区役所が掲げていくっていうこともあるのかもしれないということで、いろんな主体があるという形を描いています。
 - ・こうした取組によって多様な SDC が接点を持っていきながら、この赤い丸 [宮前区ソーシャルデザイ

ンセンター]の中を動かしていき、その事業から、活動・プロジェクトというのが右側に出てきますけど、いろんなプロジェクトが生まれたり、新しいまちのひろばが生まれるというようなことがあるのかなと思います。

- ・そしてさらにその周辺にSDCサポーターっていう役割を描かせていただきました。
- ・これは団体さんであったりもするし、運営に関わるというところまでできなくてもこの取組に関心を持っていただいて、ラウンドテーブルを実施するときは参加するとか、資源を提供するとか、時にはプロジェクトオーナーになって、この中のオーナーになっていくというような関わり方があるということがあるかもしれない。
- ・さらにその外側にいるいろんな人たちが、このサポーターに球を投げていくことによって、SDCに投げかけるというケースもあれば、多様な窓口の中に、いろんな人たちが相談して行って、それが解決されて活動になっていく、そんなような絵にもなるかもしれないと思っています。
- ・こんな感じでラウンドテーブルだけでなく、いろんな機能を実施して、そしていろんなお金を集めながら運営していくイメージをここでは示しました。
- ・これは長期ということなのですが、短期というところでは、まず今お試しラウンドテーブルからスタートしているワークショップということもありますので、これをどう実働させていくかの話。
- ・でもそれ[ラウンドテーブル]だけではやっぱりダメで、課題の収集・整理やオンラインなどの相談窓口、拠点とかを作るのはなかなか直ぐにはできないと思うんですけど、声を集めるということが必要としてくるのかなと思っています。
- ・そしてやはりこの周辺にはいろんな支えてくれるサポーターがいる。で、区役所もその1つとして入っているというような形が求められるかなと思います。
- ・区民の人たちのいろんな声とかも、このラウンドテーブルに受け止めながらいろいろ試行していくのかなと思います。
- ・最初の将来像と違って、活動のプロジェクトの数が少なめになっているんですけど、それを多分どんどん捌けるようになって、いろんなものが生まれてくるというのがさっきの将来像になるのかなと思います。
- ・これを考えていく為に、立ち上げるワーキンググループが必要だと思っていて、このワークショップ、次のステップっていうのは、このワーキンググループなのかな。取組にご賛同いただける有志を募集して、検討していくという形になるのかもしれない。
- ・でもこの検討の仕方っていうのもすごく大事なことなので、ぜひこの後の意見交換の場でこういう検討の方法が良いということがあれば、どんどん意見を出していただきたいなと思っております。
- ・こういう風にSDCの担い手を育てながら、地域での繋がりを広げて行って、信頼と実績を積み上げていくということをイメージしております。
- ・来年度の進め方としてはワーキンググループでラウンドテーブルの実施に向けた検討を進めていく、そ

してお試しではないラウンドテーブルということになるといいなと思うんですけど、そういうのを実施していくということが考えられます。

- ・というところまでが案となっております。

00:10:31 [音楽] Q&A

00:10:36

永野さん：

- ・宮前区ソーシャルデザインセンターの全体図の中で、事務局が運営をリードしていくわけですが、そこをこれから作っていかなくてはならない。
- ・それで私は今、今後のまちづくり協議会をどうするかということで、この SDC に移行していくんだということで今やっているんですね。
- ・1 年ぐらいかけてこの SDC の事務局って言うんですかね、コーディネートをするところを作って行かなきゃいけないんです。
- ・それで、この後分かれていくと非常に狭いまちのひろばになってしまうんで、SDC の全体像をどう作るかということで、まずどうやって支える人を集めるかということが問題だと思うんですね。

- ・20 年前に区づくりプランを作ったときに、区づくりプランは7つの分野別ということを考えました。
- ・市民参加だとかコミュニティとか福祉だとか防災だとか。
- ・その7つの分野を取り込めば、まちづくりが動くんだということで7つを取り込んだんですね。
- ・それで進んでいけば良いんですが、そこにプラス今度は新しく、やっぱり若いお母さん方の活動だとか、それから市民活動は宮前区は進んできましたので、そういった市民活動みたいなものを分野別の中に取り込んでいかないといけないと思うんです。
- ・そうするとその7つの分野、それと今宮前区は3つの地区になっています。向丘地区、田園都市沿線地区、有馬・野川地区というように。
- ・そういう地区別の問題、そういったものを取り組んだ SDC にしていかなければいけないと思いますね。
- ・そういうその人の配置みたいなものをやっていく必要があるかなと考えています。

- ・それで、事務局の方なんですけど、その7つの分野を考えると、市民館、いわゆる教育委員会、に集まってくる人たち、活動している人たちですね、その動きが今 SDC に繋がってないんですよ、今宮前区の場合。
- ・いわゆる企画課と地域振興課と見守りセンター、保健所ですね、がここにも参加しているのですが、やっぱり市民館が、いわゆる教育委員会がこの宮前区の SDC 作りに全面的に参加していただくと、いわゆる子ども会だとか PTA 連絡協議会だとか、そういう若い人たちのグループを取り込めると思いますね。
- ・その辺をぜひ、教育委員会にここに参加して欲しいという風に強く希望します。
- ・ちょっといろんな意見になってしまったんですが。

00:13:30

千葉：

- ・ありがとうございます。
- ・区の方からありますか？

00:13:36

宮前区役所企画課 山田：

- ・そうですね、どういう形でこれから事務局といったところについては、ワーキンググループを立ち上げてというところかなと思っています。
- ・おっしゃられたとおり、本当に市民館が大事だと思っています。
- ・本当にいろんな人が繋がっている所だと思っています。
- ・今回市民館が参加していないというのは、今回も実は市民館にきちんと参加していただいています。
- ・ちょっとテーマ的に出番はなかったかもしれないんですけど、市民館も地ケアも地域振興課もそれ以外の部署も含めて、今後 SDC なりラウンドテーブルを介して繋がって、区役所も役割を果たせるようにやっていきたいと思っています。
- ・おっしゃるとおり頑張っていきたいと思っています。以上です。

00:14:27

永野さん：

- ・川崎市の若者会議に宮前区で参加している人がいるならぜひ取り込んで欲しいと思います。

千葉：

- ・確かに、若い人が入ってないと。
- ・ありがとうございます。